

平成30年度第1回庄原市「学びの革新」推進協議会 兼 第2回庄原市初任者研修会

平成30年7月3日（火） 庄原市立庄原小学校

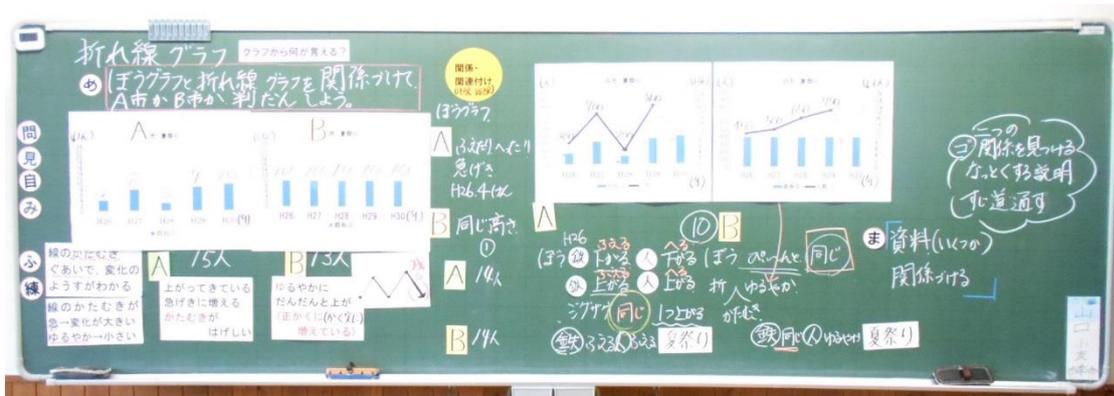
第1回庄原市「学びの革新」推進協議会については、本市児童生徒の「主体的な学び」を促進する教育活動を推進するとともに、学校全体で組織的なカリキュラム・マネジメントの実現に取り組むことを目的に、第2回庄原市初任者研修会については、先進的な授業を参観し、主体的な学びを促す授業づくりについて学び、今後の授業実践に役立てることを目的に研修会を行いました。

【研究授業】 教科等：4年2組 算数科
「グラフから何が言える？－折れ線グラフ－」
授業者：庄原小学校 教諭 馬河 美由紀
教諭 高淵 千香子

【研究協議】 庄原市教育委員会教育指導課 指導主事 小谷 綾子、赤木 一成

【指導・講話】 広島県教育委員会義務教育指導課 指導主事 升谷 英子

研究授業



第1回庄原市「学びの变革」推進協議会



【グループ協議より】

- ◆複合グラフの読み取りにより、関連付けて思考することができていた。
- ◆めあてと学習ゴールの姿を児童と一緒に設定することで、ねらいに向け、ぶれない指導になった。
- ◆数値を明確にして根拠を問うことで、算数科としての学びがより深まるだろう。
- ◆話し合い活動は、内容とねらいに応じて形態を工夫する必要がある。



【指導・助言等】

- ◆各校が設定している資質・能力の育成に向け、カリキュラム・マネジメントを進める必要がある。
「学びの变革」担当者は、カリ・マネの意義を校内に伝え、推進していく役割がある。
- ◆「学びの变革」を全教職員で進めていくため、文部科学省のホームページ等も活用し、校内研修のもち方について工夫していくこと。

【参加者の感想等】

- ◆昨年度、資質・能力の年間指導計画に単元の関連付けを示したが、その見直しを図るとともに、「『課題発見・解決学習』実践のための事例集」をもとに、もう一度単元開発について校内研修を行っていこうと思う。そして、昨年度作成の開発単元の評価・見直しを行っていききたい。
- ◆研究授業で見せていただいたように、資質・能力を育成するための教材研究を行い、教科のねらいに加え、資質・能力の育成に向けた本時のゴールを、授業の中に明確に位置付けて、児童と共有していきたい。
- ◆グループ協議で、普段交流ができない地域の先生方の意見を聞くことができ、有意義だった。
- ◆講話が分かりやすく大変参考になった。カリキュラム・マネジメントが少し身近に感じられた。

第2回庄原市初任者研修会



【参加者の感想等】

- ◆主体的な学びのために、学習課題を明確にし、一步踏み込んだ学習課題を提示することで、子供たちに付けさせたい力を付けられる授業に近付けることが分かった。
- ◆比較する、関係付けるなどの考える視点をもたせ、この時間で何ができればよいのかについて、ゴールを明確にすることで、主体的な学びが生まれることが分かった。
- ◆教科横断的な授業についてとても参考になった。本単元で終わるのではなく、その学びを発展的・横断的に活用することで主体的な学びにつながる事が分かった。